



みんなで考えよう

人権を考える 市民のつどい開催



人権週間(12月4日~10日)に先立って、人権について正しい理解を深め人権意識を高めるために、11月30日、グリーンヒルズ津山リージョンセンターで「人権を考える市民のつどい」が開催されました。

講演会では評論家の金美齢さんが「人間として生きる」の演題で講演。「生きるということはどう生きていくかということ、日本という国は努力する人は必ずどこかで報われる、コンプレックスを持たずに生きていくことが大切」と自身の体験から語られる金さんの話に約300人の聴衆は熱心に耳を傾けていました。

また、人権週間期間中はパネル展などの人権啓発行事が市内各所で開かれました。

津山の初冬を彩る

津山第九演奏会開催

12月7日、津山文化センターで第21回津山第九演奏会が開催されました。

指揮者に渡邊康雄さん、ソリストに今久保宏美さん、藤井美雪さん、相原敏明さん、秋山啓さんを迎え、71人からなる津山第九オーケストラの演奏に合わせて、公募で集まった119人の市民合唱団が高らかに「歓喜の歌」を合唱。約750人の聴衆はすばらしい歌声に魅了されました。

地元の食材を味わって!!

ミニミニ地産地消サミットと 学校給食・地場産食材使用の日

12月5日、婦人青年の家で農業者、消費者などが参加して「ミニミニ地産地消サミット」が開催されました。午前中は地場産の手づくり加工品を使って調理実習が行われ、午後は地元のを地元で消費するこれからの取り組みについて、活発な意見交換がされました。

また、この日は市内全小中学校で地場産の食材を使った学校給食が出され、子どもたちは先生の説明を聞いた後、元気よく給食を食べました。今後、地場産食材を使った給食は毎月出されることになります。



子どもたちに真剣に向き合うために

PTA連合会研修と 津山っ子こころのふれあいトーク

PTA連合会研修として、11月29日、津山市総合福祉会館でユニークな教育実践で知られる熊本県立八代高等学校校長の大畑誠也さんを迎え、「21世紀の人(本もの)づくり」と題して講演会が行われました。21世紀を乗り切るには「悪戦苦闘能力」が必要、と学校での取り組みを紹介。熊本弁で力強くユーモアいっぱい語られる話に約230人の参加者は聴き入りました。

また、12月13日は津山市総合福祉会館で「津山っ子こころのふれあいトーク」が開催されました。これは津山っ子を守り育てる市民の会が子どもたちの生の声を聞くことで、これからの健全育成に役立てようとしたものです。参加した11人の中・高校生と大人約50人は、身近な問題から津山のまちづくりまで、感じることを、それぞれに期待することなどを活発に意見交換しました。



津山発の新品が勢ぞろい

美作大学技術交流プラザ祭り

津山地域の産業振興を目的に衣食住の各分野で、産・官・学・民が連携して活動している美作大学技術交流プラザが、日ごろの活動をみなさんに知っていただくために、12月14日、美作大学技術交流プラザ祭りをグリーンヒルズ津山リージョンセンターで開きました。

ユニバーサルデザイン研究所の赤池学さんの講演、各分科会による活動内容発表のほか、屋外ではテントが並び開発商品の試食・展示・販売なども開催。会場に訪れた約3,000人の参加者は津山発の新品に触れ、楽しみました。

